

授業アイデア例



「授業アイデア例」は、全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう、授業のアイデアの一例を示すものとして、国立教育政策研究所において作成したものです。

本調査で見られた課題は、調査の対象学年だけではなく、学校全体で組織的・継続的な取組によって改善を図っていくことが大切です。

「授業アイデア例」が、日々の授業や研修会など様々な場面で活用され、児童生徒の学習状況の改善につながることを期待しています。

目次

授業アイデア例の見方

1

国語

「説明的な文章を読み、書き手の工夫を見付けて交流しよう」

～文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめる～

3

「『話し合いのデザインシート』を用いて話し合おう」

～話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ～

5

「読み手を意識しながら、意見文を書く」

～自分が伝えたいことについて、根拠を明確にして書く～

7

数学

「どのような四角形であれば結論が同じになるか考えよう」

～証明を振り返って統一的・発展的に考え、見いだした事柄を説明する～

9

「読書時間の傾向を捉えて説明しよう」

～データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断する～

11

「連続する奇数の和について成り立つことは何だろう」

～説明を振り返り、統一的・発展的に考察する～

13

英語

「適切に応じるために聞き取る力を高めよう」

～アドバイスを書くためにメッセージを聞く～

15

「書き手の一番伝えたいことを読み取る力を高めよう」

～文章の構成や展開に留意し、大切な部分をとらえる～

17

「情報を正しく伝える力を高めよう」

～与えられた情報に基づいて、3人称の英文を正しく書く～

19

「即興で伝え合う力を高めよう」

～聞いて把握した内容について、やり取りをする～

21

授業アイディア例の見方

教科名、本授業アイディア例のタイプ、調査問題の問題番号を示しています。

タイトルではどのような活動を行うのかを、サブタイトルではどのような力を身に付けたいのかを示しています。

調査結果から見られた課題についての解説や本授業アイディア例の作成意図、指導の狙い等を記述しています。

調査問題の概要、正答率を示しています。

調査問題に関する学習指導要領における領域・内容を示しています。

英語
TYPE L
[4]

「適切に応じるために聞き取る力を高めよう」
～アドバイスを書くためにメッセージを聞く～

適切に応じるために内容を聞いて把握することに課題が見られました。そこで、本授業アイディア例では、目的・場面・状況に応じて、どのような内容を聞き取るべきか考えながら聞き取ることができるための指導事例を紹介します。

課題の見られた問題の概要と結果
[4] 聞いた内容について適切に応じる
正答率 8.5% 来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動に

学習指導要領における領域・内容
言語活動
ア 聞くこと (9)

授業アイディア例

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】

1. 目的を把握する → 2. メッセージを聞く → 3. 情報を整理する → 4. アドバイスを書く → 5. 活用する

1. 目的を把握する

You'll have a new classmate from the U.S. His name is Nick.
Really? Please tell us about him more.
All right. He lives in California. Where is California? Yes, it's on the west coast of the United States. He is very interested in our country. Now, everyone. I have a message from him. He wants some advice from you. What does he want to know about? Let's listen and give him some advice.

ポイント
・聞いた後に何をすべきか、明確にしてから聞かせる。
・この段階で、生徒とのやり取りを通してニックに関する情報（出身地、趣味など）を多く示せるとよい。ただし、メッセージにある情報と重ならないように注意する。

2. メッセージを聞く

どのようなアドバイスが欲しいのだろうか？
勉強のことかな？
食べ物のことかな？
部活のことかな？
どうしてアドバイスが欲しいのだろうか？

Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.

ポイント
1回メッセージを聞き、情報を把握するよう促す。

課題の解決に向けた観点として、

授業アイディア例の よりよい活用に向けて

授業アイディア例をよりよく活用するためには、児童生徒の解答状況を把握することが大切です。

児童生徒の実態を把握する際には、設定する条件等に即して解答を分類、整理した報告書掲載の解答類型を参考にしてください。

ピンポイントで

TYPE
S

短時間で学習指導の改善・充実や課題の解決を図る事例

中学校
国語

P. 5 「『話し合いのデザインシート』を用いて話し合おう」

中学校
数学

P.11 「読書時間の傾向を捉えて説明しよう」

中学校
英語

P.19 「情報を正しく伝える力を高めよう」

3. 情報を整理する



What does he want to know about? Now talk about it in pairs.

(1) ペアやグループで聞き取り内容を確認する



I don't know.

I think he wants to know about Japanese food.



About Japan.

No, about our school.



He wants to know about club activities.

Yes, I think so, too. He wants to try some club activities in Japan.

(2) もう一度聞き取りを行う



Listen to his message once again and check your understanding.



・1度目の聞き取りの後、「ニックはどのようなことを求めているか」について、ペアやグループで短い時間話し合わせる。その際、主な意見を板書で全体に提示し、考えを深めさせてもよい。
・2度目の聞き取りでは、生徒同士で話し合ったことが本当に正しかったかどうかを確認させる。なお、生徒の実態に応じて、英文を途中で区切ったり、ヒントを与えたりしながら聞かせてもよい。

4. アドバイスを書く

「3. 情報を整理する」で確認した内容を基に、既習事項を活用してアドバイスを書く

〈アドバイス例〉 How about playing volleyball?



より良いアドバイスにするために、ペアやグループで英語を確認することも有効である。また、生徒の間違いを修正するばかりでなく、教師や外国語指導助手（ALT）から実際にアドバイスについてのコメントをもらうことで、生徒は英語を使ったコミュニケーションに喜びを感じ、学習意欲の向上にもつながる。

5. 活用する

学んだことを生かして、別のメッセージを聞き、アドバイスを書く

（問題）今、あなたは2泊3日のイングリッシュキャンプ（英語合宿）に参加しています。今日の予定について英語で放送が流れてきました。ルームメイトのサトシが部屋に不在のため、彼のために英語でメッセージを残すことになりました。放送の内容をよく聞き、サトシへのメッセージを英語で書きましょう。

Good morning. Are you enjoying this year's English camp? I hope you made many friends. I'm sure the camp will be a wonderful experience for you. Today is the last day. We're going to have the goodbye lunch from eleven a.m. to one p.m. But it is raining, so we cannot use the garden. We will eat in Room One, not in the garden. OK? Let's enjoy our last day at English camp.

本授業アイデア例 活用のポイント！

- 聞いた後に何をしなければいけないか、目的をもって英語を聞くことを日常的に繰り返す。
- できるだけ1回で聞き取れるよう指導する。
- 適切に応じるために英語を聞き、内容を理解する活動を繰り返す。生徒の実態に応じながらも、指導のステップを少なくしていき、最終的には聞いてすぐに話したり書いたりすることができる姿を目指す。

参照▶「平成31年度（令和元年度）報告書 中学校 英語」P.31～P.35、「平成31年度 解説資料 中学校 英語」P.23～P.25



について

本授業アイデア例において、特に注目・留意すべき指導上のポイントを記述しています。

本授業アイデア例 活用のポイント！

本授業アイデア例を活用するに当たって、授業づくりの参考となるよう、他の学年・各教科等での指導に生かすことなど、参考となる情報や指導上の留意点等を記述しています。

参照▶

国立教育政策研究所で作成しているほかの資料の関連部分を示しています。

次の2つのタイプを設けています。

プロセスの中で



数時間にわたる学習過程の中で、
学習指導の改善・充実や課題の解決を図る事例

中学校
国語

- P. 3 「説明的な文章を読み、書き手の工夫を見付けて交流しよう」
P. 7 「読み手を意識しながら、意見文を書く」

中学校
数学

- P. 9 「どのような四角形であれば結論が同じになるか考えよう」
P.13 「連続する奇数の和について成り立つことは何だろう」

中学校
英語

- P.15 「適切に応じるために聞き取る力を高めよう」
P.17 「書き手の一番伝えたいことを読み取る力を高めよう」
P.21 「即興で伝え合う力を高めよう」

「説明的な文章を読み、書き手の工夫を見付けて交流しよう」

～文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめる～

文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、説明的な文章を読み、文章の構成や展開、表現の仕方について、どのような工夫と効果があるのかを考えて、グループで交流する学習を提案します。それぞれの考えの根拠となる段落や部分を具体的に示しながら交流することを通して、文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめる力を身に付けることを狙いとします。

課題の見られた問題の概要と結果

① 情報を読む（新聞）

①ー 正答率 **64.6%**

「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する。

学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと ウ

授業アイデア例

学習の流れ

「説明的な文章を読み、書き手の工夫を見付けて交流する」ための学習の見通しをもつ。
文章の構成や展開、表現の仕方について、どのような工夫と効果があるのかを各自で考えてワークシートに書く。（第1時）

第1時に記入したワークシートを用いて、文章の構成や展開、表現の仕方について考えたことをグループで交流する。（第2時）

第1時、第2時の学習を踏まえ、文章の構成や展開、表現の仕方についての考えを各自で見直す。
学習を振り返る。（第3時）

（言語活動） 説明的な文章を読み、書き手の工夫を見付けて交流する。

授業前の教師の準備

①ーについての生徒の解答の状況を「解答類型」（平成31年度（令和元年度） 報告書 中学校 国語）に照らして把握する。特に、以下の「解答類型」の生徒の解答の状況に着目する。

● 「解答類型1」、 「解答類型4」の生徒

文章の内容の一部を捉えることはできているが、文章の構成や展開、表現の仕方を分析的に捉え、そのような表現をした書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりすることができていない。

● 「解答類型3」の生徒

文章の内容を的確に捉えたり、文章全体と部分との関係を考えたりすることができていない。

教材例

- 「海外に広がる弁当の魅力」（平成31年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語①）
- 新聞や雑誌の文章など

第1時

① 学習の見通しをもつ。



書き手は、目的や意図に応じて様々な工夫をして文章を書いています。文章の構成や展開、表現の仕方に留意して文章を読み、どのような工夫と効果があるのかを考えましょう。効果について考える際は、着目している段落や部分と、文章全体や他の部分との関係を踏まえることが大切です。

② 各自で文章を読み、どのような工夫と効果があるのかを各自で考えてワークシートに書く。

※ ワークシートは、着目している段落や部分に印を付けたり、自分の考えを書き込んだりすることができるように、文章全体を載せるなどの工夫をする。（P.4 【Aさんが記入したワークシートの例】 参照）

第1時終了後の教師の分析

第1時終了後に、ワークシートの記述内容を分析する。

授業前に把握した「解答類型1」、「解答類型4」や「解答類型3」に該当する生徒が、次の観点についてできているかどうかを見る。

- 文章の構成や展開、表現の仕方について、どのような工夫と効果があるのかを考えて書いている。
- 効果について考える際に、着目している段落や部分と、文章全体や他の部分との関係を踏まえている。

第1時終了後に不十分だった生徒については、第2時の交流の様子を観察し、どの段落や部分に着目しているのかを明らかにさせたり、文章全体や他の部分との関係を踏まえてその効果を考えさせたりするなど、必要に応じて指導する。

第2時

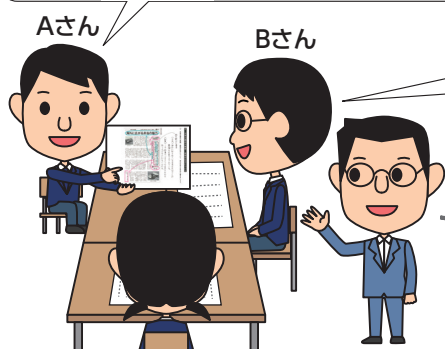
- ③ ②で記入したワークシートを用いて、文章の構成や展開、表現の仕方について考えたことをグループで交流する。



前の時間に記入したワークシートを用いて、それぞれが着目している段落や部分を具体的に示しながら、どのような工夫と効果があるのかを交流しましょう。

〔「海外に広がる弁当の魅力」について交流している場面の例〕

紙面の右上の枠の部分には、海外に知られている日本の文化のことが簡潔な文章で示されています。この記事でどのような日本の文化を取り上げるのかがすぐわかります。



Aさんが着目した枠の中にある「本シリーズでは、この五つの日本の文化を取り上げ、五回にわたって、その魅力を紹介していきます。」という部分は、紙面の最後にある「次回は、『漫画』を取り上げます。」という部分と関係があると思います。

Bさん、よい点に着目していますね。その関係からどのようなことが推測できますか。

交流の仕方についての工夫の例

- プロジェクターや実物投影機などのICT機器を用いて移動黒板などに文章全体を映し出したり、文章全体を拡大して印刷した紙を移動黒板などに貼ったりして、その場で印を付けたり言葉を書き込んだりしながら、交流することも考えられる。



第3時

- ④ ③で交流した内容を踏まえ、文章の構成や展開、表現の仕方についての考えを各自で見直し、必要に応じてワークシートに書く。

〔Aさんが記入したワークシートの例〕

- ※ ③で交流した内容を踏まえ、Aさんが書き加えた部分。

☆ 文章の構成や展開、表現の仕方について

○ 文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の考えを余白に書きましょう。

枠の部分に着目

〈工夫〉海外に知られている日本の文化のことが簡潔な文章で示されている。

〈効果〉この記事でどのような日本の文化を取り上げるのかがすぐ分かる。

〈効果〉（赤の部分の関係にも着目すると）シリーズで取り上げる順に日本の文化の例が示されていることが推測でき、今後の掲載の見通しをもつことができる。

本授業アイデア例

活用のポイント！

- 本授業アイデア例に示した教材の他にも、教科書に掲載されている説明的な文章や、学校図書館にある説明的な文章などを必要に応じて取り上げるとよい。
- 本授業アイデア例の学習の流れを参考にして、第1学年「C 読むこと」(1)イについて授業を展開することも考えられる。

「話し合いのデザインシート」を用いて話し合おう

～話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ～

話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、「話し合いのデザインシート」を作成し、それを用いて話し合う学習を提案します。これまで学んできたことを振り返り、話し合いの仕方について見直しをもった上で話し合うとともに、話し合いの途中でその状況を確認し、必要に応じて進め方を修正して話し合うことを通して、話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ力を身に付けることを狙いとします。

課題の見られた問題の概要と結果

② 話し合いをする（文化祭）

②三 正答率 **60.9%**

話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く。

学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕

A 話すこと・聞くこと オ

授業アイデア例

議題の例

● 学級文集の題名 ● 体育祭の種目 など、一定の合意を形成して物事を決める必要のあるもの。

1 学習の見直しをもつ。



グループでの話し合いを通して、学級で決めた議題について自分の考えをもつ学習をします。これまでの学習を振り返り、グループごとに、「話し合いのデザインシート」を作成した上で話し合います。途中で話し合いの状況を確認し、必要に応じて「話し合いのデザインシート」を修正します。最後に、議題について十分に話し合うことができたかどうかや、自分の考えをもつことができたかどうかについて振り返ります。

2 これまでの学習を振り返る。

〔生徒の発言をまとめた板書の例〕

【これまでに学んだこと】
 ・ 全員が自分の考えを述べること。
 ・ 考えを述べる際には理由を添えること。
 ・ 他人の考えを聞いて、疑問をもったら質問すること。
 ・ 一人一人の考えについて検討すること。
 ・ 話し合う内容や順序、時間配分などを考え、計画的に進めること。

〔「話し合いのデザインシート」の記入例〕

※ 「全グループ共通で、話し合う時間を30分間とし、15分経過した時点で、5分間、話し合いの状況を確認する時間を取る」という教師の指示の下に作成した例。

3 グループごとに話し合いの仕方について考え、「話し合いのデザインシート」に記入する。

〔話し合いの仕方について考えている場面の例〕

議題：「学校図書館の『地域の本のコーナー』に付けるタイトルについて」



グループの全員が納得できるタイトルにしたいな。



まずそれぞれの考えを出し合って、その後、出された考えについて一つずつ検討していくというのはどうかな。



一人一人の考えを検討する際には、どのような理由があるのかを確かめる必要があるので、時間を長めに取った方がよいのではないかな。



今回は、司会などの役割を決めずに自由に話し合おうよ。記録は各自で取るということではよいのではないかな。

「話し合いのデザインシート」

○○グループ

〔議題〕

学校図書館の「地域の本のコーナー」に付けるタイトルについて

〔どのように話し合うのか〕

0分 それぞれの考えを出し合う。(5分)
 5分 出された考えについて、理由を含めて検討する。(15分)

15分 [確認] (5分)
 20分

25分 グループとしての結論をまとめる。(5分)
 30分

〔議題について十分に話し合うことができたか〕

※ 青字は、生徒が記入した部分。

- ④ 作成した「話し合いのデザインシート」に沿って話し合う。
- ⑤ 話し合いの状況について、グループで確認する。



グループとしての結論に向けて、どの程度話し合いが進んでいますか。内容の検討が十分にできているかや、予定どおりの時間で進んでいるかなどについて確認し、「話し合いのデザインシート」の「確認」の欄に記入しましょう。その上で、必要に応じて残りの時間の話し合いの仕方を修正しましょう。

【話し合いの状況について確認している場面の例】【⑤～⑦の学習後の記入例】



たくさんの考えが出されたけど、二つの案に絞られてきたね。ただ、それぞれの案について、なぜよいと考えるのかについては十分に検討できていないね。



二つの案をよいと考える理由について、共通点と相違点を整理して、この後の検討事項を絞り込まないと、時間内に十分な結論を出すことは難しいのではないかな。



それぞれの案のよいところをつないで、新しい案を考えてみるのもいいね。



残り時間があまりないね。司会を立てれば、話題がそれることなく効率的に話し合いが進むのではないかな。

15分
20分

【確認】（5分）

- ・ **みんなが納得する結論を出すための話し合いになっているか。**
 - **考えの理由に着目。**
 - **それぞれの案のよいところを生かす。**
- ・ **効率的に進められているか。**
 - **検討事項を絞る。**
 - **司会を立てる。**

27分
~~25分~~
30分

グループとしての結論をまとめる。
（5分）3分

【議題について十分に話し合うことができたか】

- ・ **全員の考えの理由については検討する時間がなかったが、絞り込まれた二つの案の理由については十分に検討することができた。みんなが納得する結論が出せた。**

※ 赤字は、生徒が新たに記入した部分。

- ⑥ 話し合いを再開し、グループとしての結論を出す。
- ⑦ 議題について十分に話し合うことができたかどうかをグループで振り返り、「話し合いのデザインシート」に記入する。
- ⑧ 話し合いの経緯を踏まえ、自分の考えがどのように変わったりまとまったりしたのかをノートに書く。

【生徒の記述の例】

「私たちの〇〇市 再発見スペース」というグループの案に賛成です。私は、最初「探そう！ 〇〇市の魅力」という案を考えていました。しかし、Bさんの「『探す』は、ないものを見付ける感じがする」という発言と、Cさんの「見直してほしい魅力がこの町にはたくさんある」という発言を聞いて考えが変わりました。みんなで検討して決めた「再発見」という言葉は、自分たちが暮らす町への思いが込められていてとてもよいと思います。

⑨ 学習を振り返る。

本授業アイデア例

活用のポイント！

- 作成した「話し合いのデザインシート」については、今後の話し合い方を考えるときの参考にさせるように指導を工夫することが考えられる。
- 「平成24年度【中学校】授業アイデア例」P.3～P.4「対談を読んで考えたことを基に座談会を行う。」や「平成25年度【中学校】授業アイデア例」P.7「話し合いの動画を見ながら、司会の役割を話し合う」，「平成26年度【中学校】授業アイデア例」P.7「互いの発言を整理しながら、話し合おう」，「平成28年度【中学校】授業アイデア例」P.4「動画を用いて話し合いを振り返る」と関連させて指導することも考えられる。
- 国語科で学習した話し合いの仕方を、他教科等の言語活動に生かすように指導することも大切である。

「読み手を意識しながら、意見文を書く」

～自分が伝えたいことについて、根拠を明確にして書く～

意見文を書く際に、資料の中にある情報を自分が伝えたいことの根拠として用いて、読み手に分かりやすく書くことに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、読み手を意識しながら、集めた資料の中にある情報を根拠として用いて、意見文を書く学習を提案します。資料の中にある情報が、自分の伝えたいことの根拠としてふさわしいかどうかを検討した上で文章を書くとともに、書いた文章を観点に沿って読み合い、よい点や改善点について交流することを通して、自分が伝えたいことについて、根拠を明確にして書く力を身に付けることを狙いとしています。

課題の見られた問題の概要と結果

3 意見文を書く（地域の店）

3 二 正答率 **78.0%** 広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える。

学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと ウ

授業アイデア例

学習の流れ

「読み手を意識しながら、意見文を書く」ための学習の見通しをもつ。
意見文のテーマに沿って自分が読み手に伝えたいことを決め、伝えたいことにふさわしい根拠について考える。
各自で必要な資料を集める。
(第1時)

資料にある情報が、それぞれの伝えたいことの根拠としてふさわしいかどうかについて、グループで助言し合う。
助言を踏まえ、意見文の下書きをノートに書く。
意見文の下書きを観点に沿ってグループで読み合い、それぞれのよい点や改善点について交流する。
(第2, 3時)

グループで交流した内容を踏まえ、各自で意見文を完成させる。
学習を振り返る。
(第4時)

(言語活動) 読み手を意識しながら、意見文を書く。

授業前の教師の準備

3二についての生徒の解答の状況を「解答類型」(平成31年度(令和元年度) 報告書 中学校 国語)に照らして把握する。特に、以下の「解答類型」の生徒の解答の状況に着目する。

●「解答類型1」の生徒

自分が伝えたいことについて資料の中から根拠となる情報を取り出して正確に書くことはできているが、自分が伝えたいことの根拠として読み手に分かりやすいように書いていない。

●「解答類型4」の生徒

資料の中にある情報を、自分が伝えたいことの根拠として用いて書くことができていない。

第1時

1 学習の見通しをもつ。



完成した意見文は、多くの生徒が読めるように教室の前などに掲示します。それぞれが伝えたいことやその根拠について、読み手が共感したり納得したりすることができるように、個人で考えたりグループで助言し合ったりしながら進めます。

2 意見文のテーマに沿って自分が読み手に伝えたいことを決め、伝えたいことにふさわしい根拠について考える。

3 各自で必要な資料を集める。

第2時, 第3時 ※ 第1時と第2時の間に一定の期間を置くなどの工夫をする。

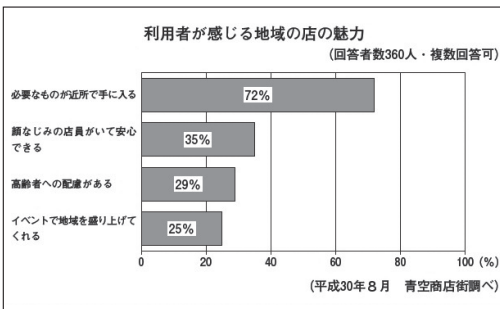
意見文のテーマの例

- 地域と私たちとのつながり
- 地域の伝統を守ることにについて
- 身近なマナーについて

など

4 資料にある情報が、それぞれの伝えたいことの根拠としてふさわしいかどうかについて、グループで助言し合う。

(ここでは、平成31年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語3を例として取り上げて、その流れを示す。)



Aさんが住んでいる地域の広報誌の一部

「Aさんが伝えたいことの根拠についての助言の例」

私は、意見文の中で、地域の店は必要であることを伝えようと思います。その根拠として、インターネットにはない地域の店の魅力の例を示したいのですが、「必要なものが近所で手に入る」と回答している人が最も多いので、この情報を用いて書こうと思います。

「必要なものが近所で手に入る」は72%の人が回答しているので、数値としては説得力があると思います。



足りなくなった文房具などもすぐに用意することができるので、「必要なものが近所で手に入る」というのは、本校の生徒も共感しやすいと思います。

⑤ ④で得た助言を踏まえ、意見文の下書きをノートに書く。

〔Aさんの意見文の下書きの例〕 (①から⑤は、段落の番号。)

- ① 最近、我が家ではインターネットを利用して買い物をする機会が増えている。それは、店に行かなくても豊富な商品を選べる上、重い荷物を持たなくてよいからだ。母も「便利になった。」と喜んでいる。これは、インターネットでの買い物ならではのことだ。しかし、いくらインターネットが便利でも、皆が買い物の多くをインターネットで済ませるようになったら、地域の店はいったいどうなってしまうのだろうか。
- ② 地域の店はこれからも必要だ。なぜなら、地域の店には、インターネットでの買い物にはない魅力があるからだ。
- ③ 私は昨年度、学校の近くの店で職場体験をした。その店では、インターネットでは出回らない、地元の特産品を販売していた。私が自宅で使っている箸もその店で買ったもので、地元の木で作られている。他では買えないその土地ならではの商品を、手に取って選ぶことができるのは、地域の店の魅力だ。
- ④ また、昨年八月に青空商店街が行ったアンケート「利用者が感じる地域の店の魅力」の結果からも分かることがある。例えば、「必要なものが近所で手に入る」という点も地域の店の魅力であると考えている。
- ⑤ 我が家でも買い物の仕方を見直し、インターネットだけでなく地域の店も積極的に利用し、その店を通して地域の魅力をどんどん見付けていきたい。皆さんも毎日の暮らしに目を向けて、地域とのつながりについて改めて考えてみてはどうだろうか。

⑥ ⑤で書いた意見文の下書きを観点に沿ってグループで読み合い、それぞれのよい点や改善点について交流する。

〔「Aさんの意見文の下書き」についての交流の例〕

第③段落には職場体験のこと、第④段落には資料の中から取り出した情報を書きましたが、私が伝えたいことの根拠としてどうでしょうか。

第③段落に書かれているAさんの体験に共感できます。第④段落で用いている情報については、具体的な数値も示した方が、説得力があると思います。



「必要なものが近所で手に入る」ことが、なぜ地域の店の魅力なのかを読み手に分かるように、説明を加えた方がよいのではないのでしょうか。



読み合う際の観点の例

- ア 自分の伝えたいことにふさわしい根拠が示されているか。
- イ 資料の中から根拠として取り出した情報が正確に書かれているか。
- ウ 読み手を意識し、自分が伝えたいことの根拠として十分な内容が示されているか。 など

第3時終了後の教師の分析

第3時終了後に、ノートの記述内容を分析する。

授業前に把握した「解答類型1」や「解答類型4」に該当する生徒が、次の観点についてできているかどうかを見る。

- 資料の中から自分が伝えたいことの根拠としてふさわしい情報を取り出して、正確に書いている。
- 取り出した情報について、自分が伝えたいことの根拠であることが分かるように書いている。

第3時終了後に不十分だった生徒については、第4時の意見文を書き直す様子を観察し、自分が伝えたいことの根拠として十分な内容が示されているかどうかについて考えさせるなど、必要に応じて指導する。

第4時

※ 必要に応じて、資料を再収集すること考えられる。

⑦ ⑥で交流した内容を踏まえ、各自で意見文を完成させる。

〔「Aさんの意見文の下書き」の第④段落を書き直した例〕 ※ 赤字は、書き直した部分。

- ④ また、昨年八月に青空商店街が行ったアンケート「利用者が感じる地域の店の魅力」の結果からも分かることがある。例えば、「必要なものが近所で手に入る」という点に着目している人が七十二パーセントいる。実際に、私も足りなくなったり急に必要になったりした文房具などを近所の店に買いに行くことがある。このようなことも、地域の店の魅力であると考えている。

⑧ 学習を振り返る。

本授業アイディア例

活用のポイント!

- 「平成28年度【中学校】授業アイディア例」P.3「要望する文章を書こう」と関連させて指導することも考えられる。

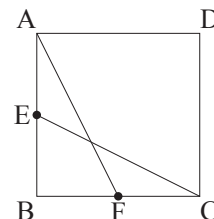
「どのような四角形であれば結論が同じになるか考えよう」

～証明を振り返って統合的・発展的に考え、見いだした事柄を説明する～

証明に用いた前提や証明の根拠、結論を整理するなどして証明を振り返って統合的・発展的に考え、新たな事柄を見だし、説明できるようにすることが大切です。そこで、本授業アイデア例では、正方形を他の四角形に変えたとき、反例を用いて命題が常に成り立つとは限らないことを示したり、ある事柄についての結論が成り立つ場合と成り立たない場合を比較したりする活動を通して、類似な事柄の間に共通する性質について考え、見いだした性質を基に事柄を説明することができるようにする指導事例を紹介します。

授業アイデア例

前の時間には、「正方形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、 $AF=CE$ になる。」ということが成り立つことを証明しました。正方形を他の四角形に変えたとき、成り立つ図形の性質について考えてみましょう。



1. 事柄が常に成り立つとは限らないことを示すために、反例をあげる。



正方形ABCDを他の四角形ABCDに変えても、 $AF=CE$ になるのでしょうか。

教師



長方形ならどうかな。

ひし形や台形でも考えてみたいね。



平行四边形だと辺AFと辺CEの長さは等しくなるのかな。



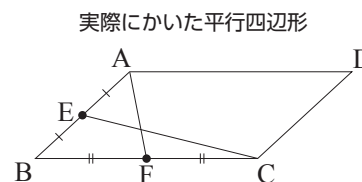
四角形ABCDを平行四辺形に変えたときも、 $AF=CE$ になるといいのでしょうか。



辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとした平行四辺形ABCDをかいたけど、この平行四辺形は辺AFと辺CEの長さが等しくありません。



辺AFと辺CEの長さが等しくならない平行四辺形が実際にあるから、 $AF=CE$ になるとはいえません。



平行四辺形ABCDについて、辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとするとといった前提を満たしているが、結論である $AF=CE$ は満たしていない例をあげることで成り立たないことを示すことができましたね。他の四角形ではどうですか。



長方形に変えたときも、 $AF=CE$ にならない長方形が実際にあるので成り立たないよ。



ひし形を考えると、辺AFと辺CEの長さは等しくなったよ。

平行四辺形

成り立たない

長方形

成り立たない

ひし形

成り立ちそう

予想 四角形 ABCD がひし形ならば、 $AF=CE$ になる。

2. 証明を振り返り、予想した事柄が成り立つかどうか考える。



「ひし形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、 $AF=CE$ になる。」と予想したことが、いつでも成り立つことを証明してみましょう。 $AF=CE$ になることを示すには何がいえればよいですか。



どのように証明すればよいのかな。

正方形のときの証明を振り返ってみようよ。



課題の見られた問題の概要と結果

⑦ 証明することや反例をあげることを通して、統合的・発展的に考察すること（四角形の条件変え）

⑦(2) 正答率 **77.6%**

ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ。

⑦(3) 正答率 **53.8%**

四角形ABCDがどのような四角形であれば、 $AF=CE$ になるかを説明する。

学習指導要領における領域・内容

⑦(2) [第2学年]
B 図形 (2)イ

⑦(3) [第2学年]
B 図形 (2)ウ

正方形のときと同じように、 $\triangle ABF$ と $\triangle CBE$ が合同であることを示せばいいね。



ひし形も4つの辺はすべて等しいから、 $AB=CB$ だね。



$AB=CB$ だから、同じように $BF=BE$ となるね。



$\triangle ABF$ と $\triangle CBE$ において、
正方形の4つの辺はすべて等しいから、
 $AB=CB$ ……①
点E, Fはそれぞれ辺AB, BCの中点だから、
①より、
 $BF=BE$ ……②
共通な角だから、
 $\angle ABF=\angle CBE$ ……③
①, ②, ③より、
2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、
 $\triangle ABF \equiv \triangle CBE$
合同な図形の対応する辺は等しいから、
 $AF=CE$



$\angle ABF=\angle CBE$ もいえるよ。



「正方形」を「ひし形」に書き直せば、ひし形の場合の証明になるから、実際に書いてみよう。



正方形のときと同じように $\triangle ABF \equiv \triangle CBE$ に着目することで、予想した「四角形ABCDがひし形ならば、 $AF=CE$ になる。」ということについて証明することができましたね。

3. $AF=CE$ が成り立つ四角形の特徴を見いだす。



$AF=CE$ になる四角形と、 $AF=CE$ にならない四角形があることがわかりましたね。では、 $AF=CE$ になる四角形には、どのような特徴があるのでしょうか。



正方形やひし形では、 $\triangle ABF \equiv \triangle CBE$ を示すことで $AF=CE$ がいえたよね。



$\triangle ABF \equiv \triangle CBE$ を示すには、 $AB=CB$, $BF=BE$, $\angle ABF=\angle CBE$ という条件が必要だったね。



平行四辺形や長方形では、 $\angle ABF=\angle CBE$ にはなるけど、 $AB=CB$ にならないね。だから、 $BF=BE$ にもならないよ。よって、 $\triangle ABF$ と $\triangle CBE$ は合同ではないね。



ということは、辺ABと辺CBの長さが等しい四角形ABCDであれば、必ず辺AFと辺CEの長さが等しくなることがいえるね。



$AB=CB$ である四角形ABCDであればよいから、正方形やひし形では $AF=CE$ がいえたのに、平行四辺形や長方形ではいえなかったんだね。

本授業アイデア例

活用のポイント！

- 事柄が常に成り立つとは限らないことを示すために、反例をあげて確認する場面を設定することが大切である。
- 類似な事柄の間に共通する性質を見いだすために、ある事柄が成り立つ場合と成り立たない場合を比較する活動を通して、その結論が成り立つための条件は何かを考え、見いだした性質を基に事柄を説明する場面を設定することが大切である。

「読書時間の傾向を捉えて説明しよう」

～データの分布の傾向を読み取り，批判的に考察し判断する～

日常生活や社会の問題を統計を使って解決する場面では，データの分布の傾向を読み取り，批判的に考察し判断することが大切です。しかし，資料の傾向を的確に捉え，判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられました。そこで，本授業アイデア例では，読書時間について傾向を捉え説明するために，その根拠を統計的な表現や処理を用いて説明できるようにする指導事例を紹介します。

授業アイデア例

前の時間には，実施したアンケートを集計し，読書時間について表とヒストグラムに整理しました。作成した表とヒストグラムから，生徒の読書時間の傾向について説明しましょう。

1. 1日あたりの読書時間に注目して，生徒の読書時間の傾向について考える。



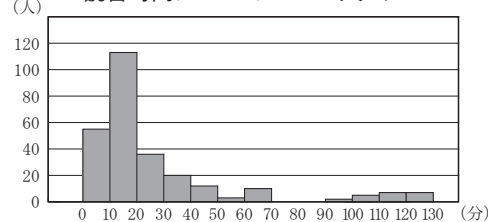
1日あたりの読書時間について，どのような特徴があるといえそうですか。調べたことを基に発表してみましょう。

1日あたりの読書時間について特徴を調べよう

読書時間についての表

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間(分)	26.0	120	0

読書時間についてのヒストグラム



Aグループの発表

一番読書をしている人は120分で，全く読書をしていない人もいます。平均値が26分だから，1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうです。

Bグループの発表

ヒストグラムを見ると，読書時間が20分未満の人が多いけれど，90分以上の人もあります。



それでは2つのグループの発表した内容について検討してみましょう。

航平さん

僕はAグループのように，平均値で考えたよ。

私はBグループのように，ヒストグラムの階級の度数を見て考えたよ。

航平さんは平均値が26分だから，ほとんどの人が1日に26分ぐらい読書をしていると考えたの？

ヒストグラムを見ると26分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。

桃子さん

平均値が26分だから，26分ぐらい読書をしている人が多いと判断してよいでしょうか。

ヒストグラムを見ると，10分以上20分未満の階級の度数が大きいから，26分ぐらい読書をしている人が多いとはいえないと思います。

僕もいえないと思います。なぜなら，ヒストグラムが左側に偏っているからです。

平均値である26分を含んだ階級の位置やその大きさを比較して説明しないとイケないんじゃないかな。

課題の見られた問題の概要と結果

学習指導要領における領域・内容

⑧ 分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること（図書だより）

⑧(2) 正答率 **41.0** % 「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する。

⑧(2)〔第1学年〕
D 資料の活用 (1)イ



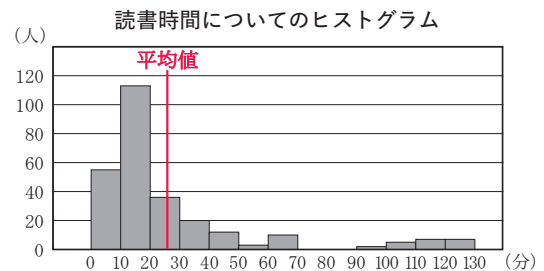
そうですね。ヒストグラムの特徴を基に「1日に26分ぐらい読書をしている人が多いといえそうだ」という考えが適切ではない理由を、平均値である26分を含んだ階級の位置やその大きさに着目して説明することはできないでしょうか。



10分以上20分未満のところが、ヒストグラムの山の一番高いことから説明できそうです。



平均値の26分が含まれる階級よりも、10分以上20分未満の階級の方が度数が大きいことから説明できそうです。



それでは、「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだ」という考えが適切ではない理由について、もう一度まとめてみましょう。

桃子さんのノート

1日あたりの読書時間である26分は山の頂上の位置にないので、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いという考えは適切ではありません。

航平さんのノート

最初は平均値だから26分ぐらいが多いと思っていたが、ヒストグラムを見てみると1日あたりの読書時間である26分が含まれる階級は、度数が最大となる階級ではないので、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いという考えは適切ではないことがわかりました。



桃子さんと航平さんがまとめたことから、データの分布の様子を読み取る際には、ヒストグラムの階級の位置やその大きさに着目して考えることが大切であることが伝わりますね。



2. さらなる問題を見いだす。



1日あたりの読書時間の傾向について調べてきました。1日あたりの読書時間について、さらに調べてみたいことはありませんか。



中央値や最頻値とヒストグラムを見て調べるといいね。

データを学年ごとに分けて調べてみたら、学年によって何か違いがあるのかな。



階級の幅を変えたら、データの分布の様子は変わるのかな。

データを平日と休日に分けて調べてみるのもいいね。

本授業アイデア例

活用のポイント！

- 集めたデータを整理して、それを基に分布の傾向を読み取り、事象について批判的に考察し判断する機会を設け、その理由について説明し合う場面を設定することが考えられる。その際、自分が判断した事柄とその根拠を、データの分布の特徴を捉えて説明したり、代表値を用いて説明したりできるようにすることが大切である。
- 統計的な解釈や判断を振り返る場面を設定し、多面的に吟味し、よりよい解決や結論を見いだそうとする態度を養うことが大切である。

「連続する奇数の和について成り立つことは何だろう」

～説明を振り返り、統合的・発展的に考察する～

数に関する性質を考察する場面では、一旦解決された問題やその解決過程を振り返り、共通する性質を見だし、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することが大切です。そこで、本授業アイデア例では、連続する3つの奇数の和、連続する5つの奇数の和について成り立つ事柄から、連続する4つの奇数の和についても成り立つ事柄を見だし、事柄を捉え直すことで統合的に考察できるようにする指導事例を紹介します。

授業アイデア例

前の時間に引き続き、連続する奇数の和について考えます。
4つの連続する奇数にしたとき、その和はどんな数になりますか。

1. 連続する4つの奇数の和が、何らかの数の4倍になることについて調べる。



教師

連続して並んでいる奇数の個数とそのときの和について、何かわかることはありますか。前の時間のまとめをみて考えましょう。



奇数の個数が3つのときは3倍で、5つのときは5倍になっているね。



奇数の個数が□個のとき、中央の奇数の□倍になっているのかな。

前の時間のノート

連続する奇数の和についてわかったこと

- ・連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍になる。
- ・連続する4つの奇数の和は、**中央の奇数がないため考えなかった。**
- ・連続する5つの奇数の和は、中央の奇数の5倍になる。



連続する4つの奇数の和については、中央の奇数がないため考えませんでした。「□個のとき、□倍」になっているということから、連続する4つの奇数の和にはどのようなことがいえそうですか。



同じように考えると、連続する4つの奇数の和は、何らかの数の4倍になっているのではないかな。



連続する4つの奇数の和は、何らかの数の4倍になりそうだと考えたのですね。このことがいえるかどうか考えてみましょう。

予想 連続する4つの奇数の和は、何らかの数の4倍になる。

$$\begin{aligned} 3 + 5 + 7 + 9 &= 24 = 4 \times 6 \\ 7 + 9 + 11 + 13 &= 40 = 4 \times 10 \\ 11 + 13 + 15 + 17 &= 56 = 4 \times 14 \end{aligned}$$

どれも4倍になっている。

何らかの数？

n を整数とし、連続する4つの奇数は

$2n+1, 2n+3, 2n+5, 2n+7$ と表せる。

それらの和は、

$$(2n+1) + (2n+3) + (2n+5) + (2n+7)$$

$$= 2n+1 + 2n+3 + 2n+5 + 2n+7$$

$$= 8n+16$$

$$= 4(2n+4)$$

計算してみたら、6, 10, 14の4倍になったよ。

確かに何らかの数の4倍になっているね。



$4(2n+4)$ から、4倍になることがわかったよ。

何らかの数が6, 10, 14だよ。これらの数は何を表しているのかな。

課題の見られた問題の概要と結果

学習指導要領における領域・内容

⑨ 証明を振り返り、統一的・発展的に考察すること（連続する奇数の和）

⑨ (3) 正答率 **70.2** % 連続する4つの奇数の和が $4(2n+4)$ で表されたとき、 $2n+4$ はどんな数であるかを選ぶ。

⑨ (3) [第2学年]
A 数と式 (1)イ、ウ

2. 連続する4つの奇数の和について、何の4倍になっているかを明らかにする。



では、いったい何の4倍になっているか調べてみましょう。



6, 10, 14は偶数だね。

$4(2n+4)$ の $2n+4$ も偶数だね。



何らかの数が偶数であることはわかりましたね。さらにわかることはありませんか。



6は5と7の間、10は9と11の間、14は13と15の間にある偶数だね。

$2n+4$ は $2n+3$ と $2n+5$ の間にある偶数だね。

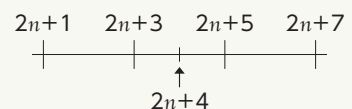


なるほど、6と $2n+4$ は、4つの奇数の真ん中にある数とみることができるね。

$$3 + 5 + 7 + 9 = 4 \times 6$$



$$(2n+1) + (2n+3) + (2n+5) + (2n+7) = 4(2n+4)$$



6, 10, 14や $2n+4$ は4つの奇数のちょうど真ん中にある数、つまり、4つの奇数の中央の数であるとみることができますね。このことから、連続する4つの奇数の和について、どのようなことがいえますか。



連続する4つの奇数の和は、中央の数の4倍になるといえます。

3. 連続する奇数の和について考察したことをまとめる。



中央の数に着目すると、連続する3つの奇数の和や連続する5つの奇数の和について、どのようなことがいえますか。



連続する3つの奇数の和でも、 $2n+3$ は中央の数なので、連続する3つの奇数の和は、中央の数の3倍になるといえます。

連続する5つの奇数の和でも、 $2n+5$ は中央の数なので、同じようなことがいえます。



連続する奇数の和について、中央の数に着目することでどのようなことを考えることができるようになりましたか。

連続する奇数の和についてわかったこと

- ・連続する3つの奇数の和は、中央の数の3倍になる。
- ・連続する4つの奇数の和は、中央の数の4倍になる。
- ・連続する5つの奇数の和は、中央の数の5倍になる。

中央の数に着目することで、中央の奇数がない場合でも考えることができた。



中央の数に着目することで、中央の奇数がない場合でも連続する奇数の和について考えることができました。

本授業アイデア例

活用のポイント！

- 一旦解決された問題やその解決過程を振り返り、目的意識をもって問題の条件や仮定を見直したり、共通する性質を見いだしたり、概念を一般化したり拡張したりするなど統一的・発展的に考察する場面を設定することが大切である。
- 本問を活用して授業を行う際には、複数の時間で扱うなど、生徒や学校の実態に応じて適切な指導計画を作成することが大切である。

「適切に応じるために聞き取る力を高めよう」

～アドバイスを書くためにメッセージを聞く～

適切に応じるために内容を聞いて把握することに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、目的・場面・状況に応じて、どのような内容を聞き取るべきか考えながら聞き取ることができるようになるための指導事例を紹介します。

課題の見られた問題の概要と結果

④ 聞いた内容について適切に応じる

正答率 **8.5 %** 来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く

学習指導要領における領域・内容

言語活動
ア 聞くこと (ウ)

授業アイデア例

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】

1. 目的を
把握する

2. メッセージを
聞く

3. 情報を
整理する

4. アドバイスを
書く

5. 活用する

1. 目的を把握する



You'll have a new classmate from the U.S. His name is Nick.



Really? Please tell us about him more.



All right. He lives in California. Where is California? Yes, it's on the west coast of the United States. He is very interested in our country. Now, everyone. I have a message from him. He wants some advice from you. What does he want to know about? Let's listen and give him some advice.



- ・聞いた後に何をすべきか、明確にしてから聞かせる。
- ・この段階で、生徒とのやり取りを通してニックに関する情報（出身地、趣味など）を多く示せるとよい。ただし、メッセージにある情報と重ならないように注意する。

2. メッセージを聞く



どのようなアドバイスが欲しいのだろうか？



勉強のことかな？
食べ物のことかな？
部活のことかな？



どうしてアドバイスが欲しいのだろうか？



Nick

Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.



1回メッセージを聞き、情報を把握するよう促す。

3. 情報を整理する



What does he want to know about? Now talk about it in pairs.

(1) ペアやグループで聞き取り内容を確認する



I don't know.

I think he wants to know about Japanese food.



About Japan.

No, about our school.



He wants to know about club activities.

Yes, I think so, too. He wants to try some club activities in Japan.

(2) もう一度聞き取りを行う



Listen to his message once again and check your understanding.



- ・1度目の聞き取りの後、「ニックはどのようなことを求めているか」について、ペアやグループで短い時間話し合わせる。その際、主な意見を板書で全体に提示し、考えを深めさせてもよい。
- ・2度目の聞き取りでは、生徒同士で話し合ったことが本当に正しかったかどうかを確認させる。なお、生徒の実態に応じて、英文を途中で区切ったり、ヒントを与えたりしながら聞かせてもよい。

4. アドバイスを書く

「3. 情報を整理する」で確認した内容を基に、既習事項を活用してアドバイスを書く

〈アドバイス例〉

How about playing volleyball?



より良いアドバイスにするために、ペアやグループで英語を確認することも有効である。また、生徒の間違いを修正するばかりでなく、教師や外国語指導助手（ALT）から実際にアドバイスについてのコメントをもらうことで、生徒は英語を使ったコミュニケーションに喜びを感じ、学習意欲の向上にもつながる。

5. 活用する

学んだことを生かして、別のメッセージを聞き、アドバイスを書く

（問題）今、あなたは2泊3日のイングリッシュキャンプ（英語合宿）に参加しています。今日の予定について英語で放送が流れてきました。ルームメイトのサトシが部屋に不在のため、彼のために英語でメッセージを残すことになりました。放送の内容をよく聞き、サトシへのメッセージを英語で書きましょう。

Good morning. Are you enjoying this year's English camp? I hope you made many friends. I'm sure the camp will be a wonderful experience for you. Today is the last day. We're going to have the goodbye lunch from eleven a.m. to one p.m. But it is raining, so we cannot use the garden. We will eat in Room One, not in the garden. OK? Let's enjoy our last day at English camp.

本授業アイデア例

活用のポイント！

- 聞いた後に何をしなければいけないか、目的をもって英語を聞くことを日常的に繰り返す。
- できるだけ1回で聞き取れるよう指導する。
- 適切に応じるために英語を聞き、内容を理解する活動を繰り返す。生徒の実態に応じながらも、指導のステップを少なくしていき、最終的には聞いてすぐに話したり書いたりすることができる姿を目指す。

「書き手の一番伝えたいことを読み取る力を高めよう」

～文章の構成や展開に留意し，大切な部分をとらえる～

まとまりのある文章を読んで，説明文の大切な部分を理解することに課題が見られました。そこで，本授業アイデア例では，書き手の一番伝えたいことを読み取る力を身に付けるための指導事例を紹介します。

課題の見られた問題の概要と結果

7 説明文の大切な部分を読み取る

正答率 **33.5** % チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで，書き手が最も伝えたい内容を選択する

学習指導要領における領域・内容

言語活動
ウ 読むこと (ウ)

授業アイデア例

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】

1. 黙読

文章を読み，大切だと思う文を選ぶ

2. 共有

選んだ文とその理由をグループやクラスで共有する

3. 検討

選んだ文を比較・検討し，最も大切な文を決める

4. 活用

学んだことを活用し，別の文章を読み，大切な文を選ぶ

ワークシート例

Article

Chimpanzees are one of the smartest animals. They can do a lot of things. How smart are they? A team at a university in Japan found the answer. Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children in some ways.

Few animals can understand *janken*. In *janken*, none is the strongest among *rock*, *scissors*, and *paper*. Learning about the relation among the three is very difficult.

The team tried teaching *janken* to seven chimpanzees. They showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees. The chimpanzees got food when they pointed to the stronger one. Finally, five of the chimpanzees learned *janken*.

The team also tried teaching *janken* to some human children. They found that children could learn *janken* when they were about four years old. Through this study, they got the answer to the question: "How smart are chimpanzees?"

(注) article : 記事 chimpanzee : チンパンジー four-year-old : 4歳の
few : ほとんどない none is ~ : いずれも～ない among ~ : ～の中で
rock, scissors, and paper : グー, チョキ, パー (じゃんけんの指の出し方)
relation : 関係 human : 人間の study : 研究

授業の準備

- ワークシートを用意する。
- 授業開始時に生徒を3～5人のグループに分ける。

【学習の流れ】

1. 黙読

- (1) おおまかな内容をとらえるための読み【5分】
「どのようなことが書かれているか」をつかむ
- (2) 大切なところをとらえるための読み【5分】
「書き手が一番伝えたいことは何か」をつかむ
最も大事なと思う文に印を付ける



Read the article to understand the outline.

Read the article again. What is the most important sentence in this article? What do you think? Underline one sentence.



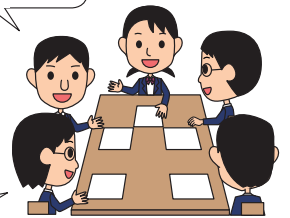
- ・ 目的を明確にした2種類の読み方をさせる。
- ・ 教師が誘導しないで各自の判断で最も大切な部分を選ばせたい。

2. 共有

- (1) 共有（グループ内）【3分】
グループ内で共有する
その際、選んだ理由も述べる
- (2) 共有（クラス全体）【5分】
各グループで述べられた理由をクラス全体に報告する
教師は文と理由を板書する

I think "They showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees" is the most important sentence because I see the words "*janken*" and "chimpanzees" many times in the article.

I think "They found that children could learn *janken* when they were about four years old" is the most important sentence because it is in the last part.



3. 検討

- (1) 検討（グループ内）【5分】
出てきた文を比較し、重み付けを行い、一番大切な文を選ぶ
- (2) 検討（クラス全体）【10分】
各グループが述べた理由を、更にクラス全体で検討する
- (3) 整理（クラス全体）【3分】
教師からの説明・まとめを行う

I think "Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children" is the main point. This is the answer to the writer's question, "How smart?"



生徒の発話の状況により、教師が「書き手が読み手に問いかけていることは？」といった発問や、検討のための手掛かりを与えてもよい。

(例) 生徒が以下のような点に着目しているかに留意して、最も重要な部分を読み取る方法を指導する。

- ・ One paragraph has one main idea or one important point.
- ・ The main idea of a passage usually appears in the beginning of the paragraph.
- ・ The most important points of a passage are often written in the first paragraph and in the last conclusion section as well.
- ・ When the passage starts with a question, the answer to it is usually important information.
- ・ Important points are repeated.

4. 活用

同様の話題（社会的な話題）に関する別の文章を読み、学んだことを生かして当該文書の大切な文を選ぶ【約10分】

教科書のリスニング用の活動で使用されている英文（スクリプト）を読ませるなど、既存のものを活用することもできる

本授業アイデア例

活用のポイント！

- 一文ずつ解説しながら全体の理解につなげるボトムアップの読み方ではなく、文章全体を読んで、大切な部分をとらえさせる読み方を指導する。
- 教え込むのではなく、生徒の気づきを引き出しながら指導する。

「情報を正しく伝える力を高めよう」

～与えられた情報に基づいて，3人称の英文を正しく書く～

与えられた情報に基づいて，3人称単数現在時制の肯定文や否定文を正確に書くことに課題が見られました。そこで，本授業アイデア例では，自分の考えや気持ちなどを正しく伝えるために，正確に文を書くことができるようになるための指導事例を紹介します。

課題の見られた問題の概要と結果

⑨ 語や文法事項等を理解して正しく文を書く

- ⑨ (3) ① 正答率 **54.3** % 与えられた情報に基づいて，ある女性を説明する英文を書く（出身）
 ② 正答率 **33.8** % 与えられた情報に基づいて，ある女性を説明する英文を書く（住んでいる都市）
 ③ 正答率 **38.3** % 与えられた情報に基づいて，ある女性を説明する英文を書く（ペットの有無）

学習指導要領における領域・内容

言語活動
 書くこと (ア)(イ)

授業アイデア例

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】

1. Reporter になろう

情報リストを基に，ある人物について友達に書いて報告する

2. Editor になろう

書いた英文を読み合い，読み手に正しく伝わるように書き直す

3. Writer になろう

インタビュー活動で収集した情報を基に，友達についての報告文を書く

目的：言語材料を学習した当該単元を越えて，長期的に繰り返し「書くこと」の言語活動及び指導を行い，正しく書く力を身に付ける

1. Reporter になろう

- (1) ペアでそれぞれ異なる人物の情報を基に報告文を書く
 (2) 書いた後，読み直して確かめてから口頭で伝え合う



Today, you are reporters. First, please read the information and write about the person. Second, please check your English and tell about the person in pairs.

【Mary の情報】

名前	メアリー
出身	カナダ
住んでいる場所	東京
言語	日本語× 英語とフランス語○
スポーツ	サッカーが上手だ

【A さんが書いた Mary についての報告文】



Mary from Canada. She lives Tokyo. She don't speaks Japanese. She speak English and French. She can plays soccer.



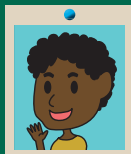
2. Editor になろう【STEP 1】

- (1) 誤りのある別の英文をクラス全体に提示して全員で修正する
 (2) 生徒が気付いた誤りのポイントをまとめてチェックリストにする



This is a report about Kevin. What do you think? Let's correct the errors together.

Kevin from Canada. He lives Nara. He don't have any pets. He want a dog now. He can play golf well.



「～出身」ってKevin from…? 何か足りない?

heのときは動詞にsが付くんじゃない? じゃあ否定文はどうするんだっけ?

canって動詞にsが付くんだっけ?



2. Editor になろう【STEP 2】

- (1) 「1. Reporter になろう」 で書いた報告文をペアで読み合う
(2) 【STEP 1】 でまとめたチェックリストを活用して誤りを修正し、書き直す



Exchange your reports in pairs and rewrite. You can use the check list. When you rewrite, don't use an eraser. Draw a line to delete words, or add words.

「～出身です」 はisがいるんだ。



主語がsheのときは動詞にsを付けるんだ。don'tじゃなくてdoesn'tだ。



「～に住んでいる」 はliveの後ろにinが付くんだ。



・相手に正しく伝わる文章になっているかどうかを、生徒自身が読み直して誤りに気づき、修正を加えながら正確さを高める活動を行う。

・生徒の実態に応じて、チェック項目を示し誤りのある部分に印を付けさせるなどして、誤りに気づくことができるようにする。

・短時間ではあるが、継続的な指導により、誤りのある英文を自己修正する力を身に付けさせる。

「Editor になろう!」 英文の正しさチェックリスト (例)

<input type="checkbox"/>	from の前に is があるか
<input type="checkbox"/>	live の後ろに in があるか
<input type="checkbox"/>	主語が I と you 以外で単数の時の動詞の形は正しいか (like? likes?)
<input type="checkbox"/>	主語が I と you 以外で単数の時の否定文は正しいか (don't? doesn't?)
<input type="checkbox"/>	be 動詞と一般動詞を一緒に使っていないか
<input type="checkbox"/>	can の後ろの動詞の形は正しいか (play? plays?)

Mary ^{is} from Canada. She ⁱⁿ lives Tokyo.
She ~~don't~~ speak ~~X~~ Japanese. She ~~doesn't~~ speaks s
English and French. She can play ~~X~~ soccer.

3. Writer になろう

- (1) ペアで互いのことについてインタビューし合う
(2) 収集した情報を基に友達についての報告文を書く
(3) 書いた文を自分で修正したりペアでチェックし合ったりする



To write about your friend, ask your friend some questions and get more information. If you finish writing, check your English. Also, exchange your reports in pairs.

When is your birthday?

My birthday is June third.

What color do you like?

I like red.

【Ryo についての報告文】

Ryo is my friend. He is from Minami-machi. He is thirteen years old. His birthday is June third. He plays soccer. His favorite color is red.



教師にインタビューして書く活動や、紹介したい人や憧れの人、好きなスポーツ選手等を紹介する英文を書く活動を行うこともできる。書く目的や場面、状況を設定し、生徒の書く意欲を高めることができるようにする。



正しく書く力をより確かなものにする

I, you 以外の主語や無生物が主語になる英文を書く機会を設け、様々な形式の英文を書く活動を行う
(例：左のイラストの様子を描写する)

This library has many books. A boy is writing something now. A girl is reading a book now.



本授業アイデア例

活用のポイント!

- 言語の正確さを高めるためには、ある程度時間が必要であることに留意して、何度も様々な場面で既習表現に触れたり考えたりする機会を設け、「最終的に身に付けていく」というスタンスで長期的に繰り返し指導することが大切である。
- 生徒が書いたチェックリストや英文は回収・分析して、どのような点につまずいているのかを明らかにして今後の指導に生かしたい。また、本調査の報告書に掲載されている解答類型や誤答例も、正しく伝える力を高める指導に活用することができる。

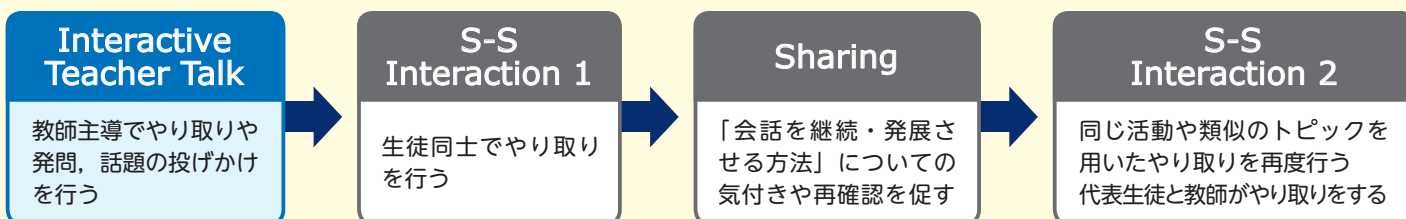
「即興で伝え合う力を高めよう」

～聞いて把握した内容について、やり取りをする～

情報や考えを即座にやり取りしたり、相手の発話の内容を踏まえてそれに関連した質問や意見を述べたりして、会話を継続させていくことに課題が見られました。そこで、本授業アイデア例では、①教師が会話を継続・発展させるためのモデルを見せるInteractive Teacher Talkの活動事例と、②教科書の対話文を基に「会話を継続・発展させる方法」について考える活動事例を紹介します。

授業アイデア例

【言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】



帯活動として上のステップをセットで行う ※「中学校外国語：移行期間における指導資料」参照

①教師が会話を継続・発展させるためのモデルを見せる Interactive Teacher Talk の活動事例

いきなり質問をするのではなく、教師自身のことを語る



I like watching movies in my free time. It's a lot of fun. What do you usually do in your free time, everyone? How about you, Yuma?

... Sleeping?



最初の応答を受けてやり取りを継続させる（一人一人の生徒の反応を大切に引き上げる）



You usually sleep in your free time. I like sleeping, too. I also like walking (ジェスチャーなどとともに) my dog, too. Do you like dogs?

... No ... cat, ... cat!



やり取りを中断しないように、生徒の意図をとらえて英語で応答する



Oh, you like cats! I see. Yuma, do you keep a cat in your house?

Keep ... 飼ってる? Oh, yes. I keep two ... ah ... no, three cats.



英語が苦手な生徒には、一文が長くないように切ったり、ポーズを十分に取ったりして伝える



I see ... you keep THREE cats ... in your house. Well ... in your free time, do you play with your cats ... inside your house?

Ah... yes! My cat ... Leo, he is very young. He like ... tennis ball.



やり取りを継続・発展させながら話題を元に戻す
既習の三単現など、やり取りを妨げない程度に強調して発話する



Oh, Leo LIKES a tennis ball, and you play with him in your free time. Well, Leo can enjoy his free time, too!

Yes, he likes ... a tennis ball. My sister can talk with Leo!



① 他の生徒に質問を促す（他の生徒がやり取りに耳を傾ける工夫の1つ）
② 最後の場面では、再度同じ生徒に最初の質問を振ることもできる



① Wow! Thank you, Yuma. Everyone, do you have any questions ABOUT HIS CATS?

① Yuma, can Leo understand English?



② Really? Thank you, Yuma. Tell us about your cats and your free time. You have...?

② Ah, OK, I have ... three cats in my house. My cat, Leo likes a tennis ball. I can ... I can play with Leo ... in my free time!



課題の見られた問題の概要と結果

学習指導要領における領域・内容

話すこと ② 即興でやり取りをする

正答率 **10.5 %**
(参考値)

ユイコとアラン先生のやり取りを聞き、その内容を踏まえて
会話が続いていくように、即興で質問をする

言語活動
イ 話すこと (ウ)

②教科書の対話文を基に「会話を継続・発展させる方法」について考える活動事例

対話文をクラスに提示し、気付かせたい表現に下線を引いたり、空欄にしたりして生徒が考える場面を設定する

My Favorite Picture

Alan 先生が、お気に入りの写真を
Yuiko と Ken に紹介しています。

A: Look at this picture of my family.

This is my favorite picture.

Y: Nice! Who is she?

A: Oh, she is my mother, Nancy. And
he is my brother, Tom. He can cook
very well.

Y: I see. [1]

A: She is a teacher. Do you have any
other questions about them?

K: [2]

*本調査「話すこと」大問2の英文を教科書の対話文の
代わりに使用



Look at these underlined parts. (下線部
を指し示しながら) They are important in
conversation. Why? Talk in groups.

Yuikoは黙っていないで反応しているよ。相手
からリアクションがあると嬉しいな。更に質問し
ているから話が続いていくね。



Look at Blank 1. What is Yuiko saying?
Look at Blank 2. What is Ken saying?
Do you have any ideas?

[1]の後にAlan先生が "She is a teacher." と答え
ているから、職業を尋ねているのかな。
[2]は… any otherってあるから…「ほかに」って
いうことかな。じゃあ、それまでに聞いていない
ことを質問しないといけないから… "What subject
does your mother teach?" なんてどう?



本授業アイデア例

活用のポイント!

① 教師が会話を継続・発展させるためのモデルを見せるInteractive Teacher Talkの活動事例

- 教師が生徒とやり取りを楽しみ、意味のある言葉のやり取りを十分に聞かせることが重要である。生徒の応答をGood!やRightなどのコメントで終わらせず、関連した質問をしたり、質問を促したり、教師自身の意見や感想を伝えたりする。
- 教師が会話を継続・発展させる方法を用いて、やり取りのモデルになる。文法や語彙への意識はもたせながら、やり取りの流れが失われないようにする。
- 活動にリトライさせる。類似の活動に再挑戦できる場面を設定し、生徒が会話を継続・発展させる方法を意識して、即興的なやり取りに自信をもって取り組めるようにする。

② 教科書の対話文を基に「会話を継続・発展させる方法」について考える活動事例

- 既習の教科書の対話文をうまく活用する。意味や内容、場面を理解した既習の英文を扱うことで、生徒が、会話を継続・発展させる働きや会話の流れに注目して活動に取り組むことができる。
- 生徒がペアやグループで話し合う場面を設定する。教師が最初から説明せず、生徒同士で話し合い、会話の流れや既習表現の働きに関する理解を促す。

参照▶「平成31年度（令和元年度） 報告書 中学校 英語」P.76 ～ P.80,「平成31年度 解説資料 中学校 英語」P.58 ～ P.60

※「中学校外国語：移行期間における指導資料（小中接続・帯活動）」

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2019/07/23/1414464_2.pdf

右のQRコードから上記PDFファイルへアクセス可能



授業アイデア例 Q&A

Q

授業アイデア例は、どのようなときに活用できるのですか？

A

- 日々の授業や教材研究
- 各学校での研修会や研究授業
- 各教育委員会での研修会の資料

など、課題の解決に向けた様々な場面で活用することが考えられます。

この授業アイデア例が、先生方それぞれの授業づくりの広がりにつながっていくことを期待しています。

Q

授業アイデア例は、小6や中3の担当が参考にするものですか？

A

全ての先生が活用できるものを目指して作成しています。

本調査は小5・中2までの内容を出題しており、本調査で見られた課題は、小6・中3だけではなく、学校全体、校種を通じた系統的・継続的な指導によって改善を図っていくことが大切です。

また、本授業アイデア例を他の教科等の授業づくりに活用することも考えられます。

Q

授業アイデア例に示してあるTYPE S・Lとは何ですか？

A

本授業アイデア例では、調査結果から明らかになった課題の解決に向けた観点として次の2つのタイプを設けており、様々な方向から課題の解決に取り組めるようにしています。

短時間で学習指導の改善・
充実や課題の解決を図りたい
ときは



TYPE
S

数時間にわたる学習過程の中
で、学習指導の改善・充実や
課題の解決を図りたいときは



TYPE
L

Q

課題を把握して、授業の改善を図りたいのですが、授業アイデア例のほかにも参考になるものがありますか？

A

授業アイデア例は、解説資料・報告書と併せて活用すると効果的です。各授業アイデア例に「参照▶」として該当ページを示しています。



Q

過去の授業アイデア例や解説資料・報告書はどこで見ることができますか？

A

国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>